

「中」グループでも、「差別意識はもはや残っていない」と答えたものは1割に達しない。

【第11表】

『あなたは、同和地区や同和地区の人に対する差別意識が、いまでも残っていると思いますか。』（問17）

【第11表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区に対する差別意識の現状】

(上段:人、下段:%)

人権意識	残あ差 つま別 てり意 い変識 るわは らず現 ず在 も	強差 く別 な意 つ識 ては いさ るら に	残つ差 つ別 てあ意 いる識 るがは 、薄 ま だり	残差 つ別 て意 い識 なは いも はや	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
高 N=164	18 11.0%	2 1.2%	97 59.1%	13 7.9%	23 14.0%	11 6.7%
中 N=348	40 11.5%	3 0.9%	203 58.3%	29 8.3%	50 14.4%	23 6.6%
低 N=161	34 21.1%	2 1.2%	68 42.2%	15 9.3%	24 14.9%	18 11.2%
総計 N=673	92 13.7%	7 1.0%	368 54.7%	57 8.5%	97 14.4%	52 7.7%

(12) 同和地区に関する差別意識がなくなる理由 (問17-1)

前問で、何らかの程度、差別意識が残っていると回答したものに対して、なぜ差別意識がなくなると思うかを聞いた結果をみると、「昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」はどのグループでもいちばん多く、全体で5割を超え、「結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから」も4割前後ある。人権問題に関する生活態度スコアが「高」グループでは、「差別落書きやインターネット上での誹謗・中傷など、差別意識を助長する人がいるから」、「同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和対策の必要性が十分に理解されていないから」などをあげたものが多いのに対して、人権問題に関する生活態度スコアが「低」「中」グループでは、「いわゆる“えせ同和行為”などを見聞きすることがあるから」、「運動団体による活動が、市民の共感を得られず、逆に反感を招いているから」、「いまでも同和地区の人が優遇されていると思うから」などがかなり大きな割合を占めている。【第12表】

『同和問題に関する差別意識がなくなる理由は、なぜだと思いますか。』（問17-1）

【第12表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区に関する差別意識がなくなる理由】

（上段：人、下段：％）

	れ和結 地婚 区や と出住 を身居 避者の けや移 たそ転 いの関 と係に う者際 かとし らみて な、 さ同	識誹差 を謗別 助（落 長ひ書 すぼき るうや 人）・イ が・ン いる中 傷かな からネ 、ト 差上 別で 意の	な求同 どす問 をる見 、題 聞き わ口 すゆ実 るに こ一不 とえ当 がせな あ同利 る和益 か行等 ら為を 一要	な運 ど動 が団 あ体 つた一 か部 ら活 動家 による 不祥 事	ら関マ れわス るメ こと不 と祥イ が事ア あなよ らがっ て、 き、 取和 り問 上題 げに	かを運 ら得動 れ団 れ体 ず、よ 逆る に活 感が、 を、 招市 いの ての 共感	分た同 にこ和 理れ問 解まを されの 、よ決 逆る和 に活対 感が、の を、か 招市必 いの行 ての性 共感が てき	優い 遇ま さで れて 同和 地区 の思 う人 が、 行 政 から	たあ かえ ら 距方 離向 を お活 こ動 うす と積 すの 的 るで 人 は なく 増く え、 う	同 和 問 題 に つ いて 積 極 的 に 関 与 す る 人 は な く 増 え 、 う	か ら こ れ ま で の 教 育 ・ 啓 発 に 限 手 法 が あ る 、	も同 困和 難地 な区 状況 にの 生活 実態 が、 現 在 から	律差 が別 ない して は い け な い と 規 制 す る 法	ま昔 受け からの 偏見 や差 別意 識が 多 い、 そ の ま	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
高 N=118	44 37.3%	34 28.8%	41 34.7%	20 16.9%	12 10.2%	24 20.3%	31 26.3%	30 25.4%	18 15.3%	22 18.6%	9 7.6%	12 10.2%	66 55.9%	8 6.8%	6 5.1%	1 0.8%	
中 N=250	100 40.0%	46 18.4%	115 46.0%	43 17.2%	43 17.2%	55 22.0%	44 17.6%	107 42.8%	26 10.4%	41 16.4%	9 3.6%	17 6.8%	153 61.2%	19 7.6%	5 2.0%	2 0.8%	
低 N=107	40 37.4%	13 12.1%	58 54.2%	32 29.9%	21 19.6%	38 35.5%	13 12.1%	61 57.0%	12 11.2%	21 19.6%	3 2.8%	10 9.3%	48 44.9%	9 8.4%	5 4.7%	0 0.0%	
総計 N=475	184 38.7%	93 19.6%	214 45.1%	95 20.0%	76 16.0%	117 24.6%	88 18.5%	198 41.7%	56 11.8%	84 17.7%	21 4.4%	39 8.2%	267 56.2%	36 7.6%	16 3.4%	3 0.6%	

(13) 同和地区に対するイメージ(問18)

同和地区に対する回答者のイメージについて、人権問題に関する生活態度スコアが高いグループほど、積極的な回答が大きな割合を占めているのは、「親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる」、「高齢者や障害のある人への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取り組みが進められている」、「地域の学校において、広く人権問題に関する教育に取り組んでいる」の3点で、しかも3つのグループの間の差は比較的小さい。それに対して、「何か問題が起こると、集団で行動することが多い」、「同和問題を口実に、いわゆる“えせ同和行為”で不当な利益等を要求する人がいる」、「いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている」の3点については、人権問題に関する生活態度スコアが低いグループほど大きな割合を占めている。【第13表】

『あなたご自身、現在、同和地区に対してどのようなイメージをお持ちですか。次の(1)～(11)のすべての項目についてお答えください。』(問18)

【第13表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区に対するイメージ】

(上段:人、下段:%)

		そう 思う	えど ばち そら うか 思 う い	えど な ち い ら と も い	な えど い ばち そら うか 思 と わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・
(1)所得の低い人が 多く住んでいる	高 N=164	14 8.5%	23 14.0%	47 28.7%	13 7.9%	55 33.5%	0 0.0%	12 7.3%
	中 N=348	24 6.9%	56 16.1%	95 27.3%	40 11.5%	109 31.3%	1 0.3%	23 6.6%
	低 N=161	14 8.7%	18 11.2%	43 26.7%	19 11.8%	46 28.6%	0 0.0%	21 13.0%
	総計 N=673	52 7.7%	97 14.4%	185 27.5%	72 10.7%	210 31.2%	1 0.1%	56 8.3%
	高 N=164	6 3.7%	25 15.2%	96 58.5%	10 6.1%	15 9.1%	0 0.0%	12 7.3%
(2)親切で、人情味に あふれた人が多く住ん でいる	中 N=348	9 2.6%	38 10.9%	197 56.6%	31 8.9%	47 13.5%	2 0.6%	24 6.9%
	低 N=161	10 6.2%	7 4.3%	67 41.6%	20 12.4%	34 21.1%	0 0.0%	23 14.3%
	総計 N=673	25 3.7%	70 10.4%	360 53.5%	61 9.1%	96 14.3%	2 0.3%	59 8.8%
	高 N=164	12 7.3%	47 28.7%	58 35.4%	14 8.5%	19 11.6%	0 0.0%	14 8.5%
	中 N=348	50 14.4%	91 26.1%	122 35.1%	28 8.0%	34 9.8%	2 0.6%	21 6.0%
(3)同和地区外の人 に対して、閉鎖的な意 識を持った人が多い	低 N=161	19 11.8%	37 23.0%	52 32.3%	5 3.1%	25 15.5%	0 0.0%	23 14.3%
	総計 N=673	81 12.0%	175 26.0%	232 34.5%	47 7.0%	78 11.6%	2 0.3%	58 8.6%
	高 N=164	21 12.8%	50 30.5%	60 36.6%	6 3.7%	12 7.3%	0 0.0%	15 9.1%
	中 N=348	49 14.1%	104 29.9%	125 35.9%	16 4.6%	27 7.8%	2 0.6%	25 7.2%
	低 N=161	31 19.3%	30 18.6%	49 30.4%	8 5.0%	19 11.8%	1 0.6%	23 14.3%
(4)地域社会(コミュ ニティ)の中での連帯 意識を持った人が多い	総計 N=673	101 15.0%	184 27.3%	234 34.8%	30 4.5%	58 8.6%	3 0.4%	63 9.4%
	高 N=164	14 8.5%	43 26.2%	71 43.3%	6 3.7%	16 9.8%	0 0.0%	14 8.5%
	中 N=348	49 14.1%	81 23.3%	139 39.9%	18 5.2%	34 9.8%	2 0.6%	25 7.2%
	低 N=161	25 15.5%	26 16.1%	54 33.5%	9 5.6%	23 14.3%	1 0.6%	23 14.3%
	総計 N=673	88 13.1%	150 22.3%	264 39.2%	33 4.9%	73 10.8%	3 0.4%	62 9.2%

		そう 思う	え ど ば ち ら か と う い	え ど ち ら い と も い	な い え ど ば ち ら か と う い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 明 回 答 ・
(6) なにか問題が起こると、集団で行動することが多い	高 N=164	22 13.4%	52 31.7%	49 29.9%	10 6.1%	20 12.2%	0 0.0%	11 6.7%
	中 N=348	84 24.1%	113 32.5%	89 25.6%	16 4.6%	25 7.2%	1 0.3%	20 5.7%
	低 N=161	48 29.8%	35 21.7%	37 23.0%	4 2.5%	14 8.7%	1 0.6%	22 13.7%
	総計 N=673	154 22.9%	200 29.7%	175 26.0%	30 4.5%	59 8.8%	2 0.3%	53 7.9%
	高 N=164	12 7.3%	46 28.0%	72 43.9%	7 4.3%	15 9.1%	0 0.0%	12 7.3%
(7) 同和地区では、高齢者や障害のある人への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取り組みが進められている	中 N=348	35 10.1%	65 18.7%	172 49.4%	10 2.9%	35 10.1%	3 0.9%	28 8.0%
	低 N=161	21 13.0%	19 11.8%	66 41.0%	9 5.6%	19 11.8%	2 1.2%	25 15.5%
	総計 N=673	68 10.1%	130 19.3%	310 46.1%	26 3.9%	69 10.3%	5 0.7%	65 9.7%
	高 N=164	32 19.5%	43 26.2%	53 32.3%	6 3.7%	18 11.0%	0 0.0%	12 7.3%
	中 N=348	94 27.0%	112 32.2%	84 24.1%	5 1.4%	28 8.0%	1 0.3%	24 6.9%
(8) 同和問題を口実に、いわゆる「えせ同和行為」で不当な利益等を要求する人がいる	低 N=161	57 35.4%	30 18.6%	34 21.1%	3 1.9%	13 8.1%	2 1.2%	22 13.7%
	総計 N=673	183 27.2%	185 27.5%	171 25.4%	14 2.1%	59 8.8%	3 0.4%	58 8.6%
	高 N=164	6 3.7%	17 10.4%	96 58.5%	16 9.8%	15 9.1%	0 0.0%	14 8.5%
	中 N=348	10 2.9%	30 8.6%	193 55.5%	38 10.9%	50 14.4%	2 0.6%	25 7.2%
	低 N=161	5 3.1%	7 4.3%	78 48.4%	16 9.9%	27 16.8%	2 1.2%	26 16.1%
(9) 同和地区の人が、地域外の人との交流に力を入れている	総計 N=673	21 3.1%	54 8.0%	367 54.5%	70 10.4%	92 13.7%	4 0.6%	65 9.7%
	高 N=164	24 14.6%	49 29.9%	55 33.5%	8 4.9%	15 9.1%	0 0.0%	13 7.9%
	中 N=348	83 23.9%	113 32.5%	99 28.4%	11 3.2%	20 5.7%	2 0.6%	20 5.7%
	低 N=161	59 36.6%	33 20.5%	31 19.3%	1 0.6%	14 8.7%	1 0.6%	22 13.7%
	総計 N=673	166 24.7%	195 29.0%	185 27.5%	20 3.0%	49 7.3%	3 0.4%	55 8.2%
(10) いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている	高 N=164	18 11.0%	40 24.4%	62 37.8%	13 7.9%	17 10.4%	1 0.6%	13 7.9%
	中 N=348	29 8.3%	77 22.1%	159 45.7%	18 5.2%	37 10.6%	2 0.6%	26 7.5%
	低 N=161	14 8.7%	16 9.9%	81 50.3%	7 4.3%	17 10.6%	2 1.2%	24 14.9%
	総計 N=673	61 9.1%	133 19.8%	302 44.9%	38 5.6%	71 10.5%	5 0.7%	63 9.4%
	高 N=164	18 11.0%	40 24.4%	62 37.8%	13 7.9%	17 10.4%	1 0.6%	13 7.9%
(11) 地域の学校において、広く人権問題に関する教育に取り組んでいる	中 N=348	29 8.3%	77 22.1%	159 45.7%	18 5.2%	37 10.6%	2 0.6%	26 7.5%
	低 N=161	14 8.7%	16 9.9%	81 50.3%	7 4.3%	17 10.6%	2 1.2%	24 14.9%
	総計 N=673	61 9.1%	133 19.8%	302 44.9%	38 5.6%	71 10.5%	5 0.7%	63 9.4%

(14) 同和地区に対するイメージを持った理由(問 18-1)

同和地区や同和地区の人びとに対するイメージと関連して、上記のようなイメージをも

った理由を聞いたが、人権問題に関する生活態度スコアとの間に、はっきりした違いはみられず、どのグループも「とくにこれといった理由はなく、単なるイメージ」が多い。これについては、それぞれのイメージごとにクロスしないと意味がないが、それぞれのイメージをもった理由としては、「高」グループでは「学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから」が、「中」「低」グループでは「身近にいる人の話の内容などから」、などが多くなっている。【第14表】

『あなたが問18の回答のようなイメージを持ったのはなぜですか。』（問18-1）

【第14表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区に対する差別意識に対するイメージを持った理由】

(上段:人、下段:%)

	はとなく、単なるイメージ理由	自分の身近にいる人が話	書籍やインターネット上の情報、報道、報	インタビューなど	学校時代の学習経験や地域	報誌やちりしなど	団体などの啓発資料(から)	地方公共団体や民間啓発	その時の印象から	その近くに住んでいる、は	以前、同和地区であるいは	同和地区に友だち(知話)	その他、自らの体験に基	不明・無回答
高 N=164	63 38.4%	32 19.5%	30 18.3%	42 25.6%	23 14.0%	24 14.6%	21 12.8%	14 8.5%	17 10.4%					
中 N=348	160 46.0%	106 30.5%	56 16.1%	62 17.8%	31 8.9%	47 13.5%	42 12.1%	21 6.0%	25 7.2%					
低 N=161	68 42.2%	49 30.4%	22 13.7%	20 12.4%	13 8.1%	16 9.9%	17 10.6%	12 7.5%	31 19.3%					
総計 N=673	291 43.2%	187 27.8%	108 16.0%	124 18.4%	67 10.0%	87 12.9%	80 11.9%	47 7.0%	73 10.8%					

(15) 同和地区の人に対する就職差別の現状認識(問19)

同和地区の人は就職するときに不利になることがあるかについて、人権問題に関する生活態度スコアとの関係を見ると、「しばしば不利になることがある」という回答ではほとんど差異はみられないが、「不利になることはない」としたものは「低」グループでやや多くなっている。【第15表】

『現在、同和地区の人は、就職するときに不利になることがあると思いますか。』（問19）

【第15表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区の人に対する就職差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	しばしば不利になることがある	たまに不利になることがある	不利になることはない	わからない	明はしばしば、あるいは区分不	不明・無回答
高 N=164	22 13.4%	34 20.7%	16 9.8%	68 41.5%	14 8.5%	10 6.1%
中 N=348	49 14.1%	63 18.1%	34 9.8%	145 41.7%	44 12.6%	13 3.7%
低 N=161	23 14.3%	32 19.9%	21 13.0%	52 32.3%	18 11.2%	15 9.3%
総計 N=673	94 14.0%	129 19.2%	71 10.5%	265 39.4%	76 11.3%	38 5.6%

(16) 同和地区の人に対する就職差別の将来展望(問 19-1)

同和地区の人は就職するときに「不利になることがある」と回答したものに、その問題は近い将来、なくすことができると思うかどうかを聞いたところ、「完全になくせる」としたものは「高」グループが多く、「なくすのは難しい」としたものは「低」グループが多い。

【第 16 表】

『同和地区の人に対する就職差別は、近い将来、なくすことができると思いますか。』(問19-1)

【第18表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

	完全になくせる	かなりなくすことができる	なくすのは難しい	不明・無回答
高 N=70	8 11.4%	41 58.6%	21 30.0%	0 0.0%
中 N=156	4 2.6%	96 61.5%	56 35.9%	0 0.0%
低 N=73	1 1.4%	28 38.4%	44 60.3%	0 0.0%
総計 N=299	13 4.3%	165 55.2%	121 40.5%	0 0.0%

(17) 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識(問 20)

現在、同和地区の人は、結婚する際に反対されることがあると思うかについて聞いたが、「しばしば反対されることがある」は「低」グループでやや多いが「たまに反対される」を合わせると人権問題に関する生活態度スコアによる差はほとんど認められない。

【第 17 表】

『現在、同和地区の人は、結婚する際に相手の親族等に反対されることがあると思いますか。』(問20)

【第17表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識】

【第17表】 (上段:人、下段:%)

	しばしば反対される	たまに反対される	な反 い対 され るこ とは	わ から ない	明は した ばま には の、 区あ 分る ない	無不 回答 ・
高 N=164	38 23.2%	51 31.1%	7 4.3%	42 25.6%	15 9.1%	11 6.7%
中 N=348	82 23.6%	103 29.6%	16 4.6%	99 28.4%	29 8.3%	19 5.5%
低 N=161	46 28.6%	33 20.5%	5 3.1%	40 24.8%	18 11.2%	19 11.8%
総計 N=673	166 24.7%	187 27.8%	28 4.2%	181 26.9%	62 9.2%	49 7.3%

(18) 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望(問 20-1)

同和地区の人に対する結婚差別があると回答したものに、その問題は近い将来なくすことができると思うかをきいたが、「高」グループでは「完全になくせる」と「かなりなくすことができる」の合計が 64.4%に達しているのに対して、「中」グループでは 51.8%、「低」グループでは 39.2%にとどまっており、人権問題に関する生活態度スコアとはかなり相関している。【第 18 表】

同和地区の人に対する結婚差別は、近い将来、なくすことができると思いますか。(問20-1)

【第18表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

	完全に なくせる	かなり なくす こと	なくす のは 難しい	不明・ 無回答
高 N=104	10 9.6%	57 54.8%	36 34.6%	1 1.0%
中 N=214	8 3.7%	103 48.1%	103 48.1%	0 0.0%
低 N=97	3 3.1%	35 36.1%	59 60.8%	0 0.0%
総計 N=415	21 5.1%	195 47.0%	198 47.7%	1 0.2%

(19) 差別的な発言に対する態度(問 21)

学校や職場、日常生活のなかで、差別発言にであったときの態度について(問 21)人権問題に関する生活態度スコア別にみると、「表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする」がどのグループでも多いが、「高」グループは 42.9%に達し、「中」グループは 34.2%、「低」グループは 24.2%にとどまっている。また、「高」グループでは、18.0%が「差別的な発言があったことを指摘し、差別について話し合う」と回答しているのに対して、「中」グループでは 8.6%、「低」グループは 3.7%しかなく、「ほかの話題に転換するよう努力する」と「何もせずに黙っている」を合わせると 3 割以上を占めており、人権問題に関する生活態度スコアとの相関関係が認められる。【第 19 表】

『学校や職場、日常生活の中で、誰かが同和地区の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような態度をとりますか。』（問21）

【第19表 人権問題に関する生活態度スコア別 差別的な発言に対する態度】

（上段：人、下段：％）

	差別的な発言があつたことを指摘して、差別について話す（と思う）	差別はいいかげんやめよう（と思う）	表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えよう（と思う）	別の言葉（と）を口にした（と思う）	表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉（と）を口にした（と思う）	ほかの話題に転換する（と思う）	努力する（と思う）	何もせずに黙っている（と思う）	その他	わからない	不明・無回答
高 N=161	29 18.0%	69 42.9%	2 1.2%	23 14.3%	15 9.3%	0 0.0%	21 13.0%	8 5.0%			
中 N=348	30 8.6%	119 34.2%	12 3.4%	66 19.0%	52 14.9%	9 2.6%	53 15.2%	16 4.6%			
低 N=161	6 3.7%	39 24.2%	13 8.1%	26 16.1%	35 21.7%	6 3.7%	25 15.5%	19 11.8%			
総計 N=673	65 9.7%	227 33.7%	27 4.0%	115 17.1%	102 15.2%	15 2.2%	99 14.7%	43 6.4%			

(20) 「同和地区の人は怖い」等という話を聞いた経験(問 22)

「同和地区の人は怖い」とか「同和対策は不公平だ」という話をきいたことがあるかについては、「低」グループでは23%が「ない」としており、「高」グループ（38.4%）よりかなり少ないが、傾向としてはあまり変わらない。【第20表】

『あなたは、「同和地区の人は怖い」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことがありますか。』（問22）

【第20表 人権問題に関する生活態度スコア別 「同和地区の人は怖い」等という話を聞いた経験】

（上段：人、下段：％）

	ある	ない	不明・無回答
高 N=164	93 56.7%	63 38.4%	8 4.9%
中 N=348	217 62.4%	116 33.3%	15 4.3%
低 N=161	105 65.2%	37 23.0%	19 11.8%
総計 N=673	415 61.7%	216 32.1%	42 6.2%

(21) 「同和地区の人は怖い」等という話を聞いた相手(問 22-1)

同和地区や同和対策についての話をきいたことがあるものに、その情報源を聞いた結果をみると、「中」、「低」グループでの「職場の人」が若干多くなっているが、傾向はほとんど変わらない。【第21表】

『「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことがある場合、それは誰からですか。』（問22-1）

【第21表 人権問題に関する生活態度スコア別「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手】

（上段：人、下段：％）

	家族	親戚	近所の人	友だち	職場の人	学校の先生	職員や市町村の	知らない人	その他	不明・無回答
高 N=93	25 26.9%	15 16.1%	31 33.3%	35 37.6%	23 24.7%	2 2.2%	1 1.1%	8 8.6%	7 7.5%	1 1.1%
中 N=217	52 24.0%	26 12.0%	73 33.6%	84 38.7%	69 31.8%	5 2.3%	6 2.8%	12 5.5%	23 10.6%	6 2.8%
低 N=105	30 28.6%	10 9.5%	28 26.7%	40 38.1%	35 33.3%	3 2.9%	4 3.8%	9 8.6%	7 6.7%	1 1.0%
総計 N=415	107 25.8%	51 12.3%	132 31.8%	159 38.3%	127 30.6%	10 2.4%	11 2.7%	29 7.0%	37 8.9%	8 1.9%

(22) 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想（問 22-2）

同じく、「同和地区の人はこわい」とか「同和対策は不公平だ」という話をきいたときにどう感じたかについて、人権問題に関する生活態度スコアとの関係を見ると、

「そのとおりに思った」と回答したものは、「高」グループの 18.3%に対して、「低」グループでは 33.3%を占めている。他方、「反発・疑問を感じた」とするものは、逆に、「中」や「低」グループでは 10%弱しかないが、「高」グループでは 21.5%あるなど、人権問題に関する生活態度スコアとは明確な相関を示している。【第 22 表】

『「同和地区の人はこわい」等の話を聞いたとき、どう感じましたか。』（問22-2）

【第22表 人権問題に関する生活態度スコア別「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想】

（上段：人、下段：％）

	そのとおりに	たあそ るう のい か う と 見 方 も	じ反 た発 た 疑 問 を 感	な か く つ に た 何 も 思 わ	無 不 回 明 答 ・
高 N=93	17 18.3%	50 53.8%	20 21.5%	5 5.4%	1 1.1%
中 N=217	46 21.2%	129 59.4%	21 9.7%	19 8.8%	2 0.9%
低 N=105	35 33.3%	47 44.8%	10 9.5%	11 10.5%	2 1.9%
総計 N=415	98 23.6%	226 54.5%	51 12.3%	35 8.4%	5 1.2%

(23) 同和地区やその住民との関わり（問 23）

回答者と、同和地区やその住民との関わりについて、人権問題に関する生活態度スコア別にみると、「同和地区やその近くに住んでいたことがある」とか「同和地区に友だちがいる」などについてはスコアによる違いは認められないが、「同和地区内の施設を利用したこ

とがある」とするものは「高」グループでは 16.2%あり、「中」グループ (9.2%) や「低」グループ (4.6%) よりも多く、「盆踊りやまつりなど、同和地区の人との交流事業やイベントに参加したことがある」などについても、人権問題に関する生活態度スコアとの相関関係が認められる。【第 23 表】

『あなたと、同和地区やその住民の方との関わりについてお答えください。』（問23）

【第23表 人権問題に関する生活態度スコア別 同和地区やその住民との関わり】

(上段:人、下段:%)

	とくに同和地区やその近	(同和地区)が友人だち	同和地区内の施設(人権センター)や隣保などを利用したことがある	同和地区の人との交流事業やイベントに参加したことがある	盆踊りやまつりなど、同和地区の人との交流事業	地域課題解決に向けて、同和地区の人と協力して取り組んだことがある	その他	同和地区の人との関わりはまったくない	不明・無回答
高 N=173	36 20.8%	36 20.8%	28 16.2%	20 11.6%	10 5.8%	13 7.5%	73 42.2%	9 5.2%	
中 N=370	60 16.2%	68 18.4%	34 9.2%	22 5.9%	4 1.1%	21 5.7%	179 48.4%	28 7.6%	
低 N=173	22 12.7%	29 16.8%	8 4.6%	9 5.2%	1 0.6%	14 8.1%	74 42.8%	25 14.5%	
総計 N=716	118 16.5%	133 18.6%	70 9.8%	51 7.1%	15 2.1%	48 6.7%	326 45.5%	62 8.7%	

(24) 外国籍住民とのつきあい (問 29)

近隣に住む外国籍住民とのつきあいの状況と、人権問題に関する生活態度スコアとの関係については、ほとんど差異は認められない。【第 24 表】

『あなたは、となり近所や地域の外国籍住民とどのようなつきあいをされていますか。(日本国籍の方のみ回答)』（問29）

【第24表 人権問題に関する生活態度スコア別 外国籍住民とのつきあい】

(上段:人、下段:%)

	困る外国人に助けが	かたがたに招いたり、外国籍を招	家の外で立ち話を	外国籍住民が交わす	なるに、国籍はあ	いと、なり近所や地域の	不明・無回答
高 N=227	9 4.0%	11 4.8%	25 11.0%	47 20.7%	61 26.9%	58 25.6%	16 7.0%
中 N=476	25 5.3%	30 6.3%	54 11.3%	90 18.9%	124 26.1%	123 25.8%	30 6.3%
低 N=212	8 3.8%	12 5.7%	19 9.0%	34 16.0%	70 33.0%	57 26.9%	12 5.7%
総計 N=915	42 4.6%	53 5.8%	98 10.7%	171 18.7%	255 27.9%	238 26.0%	58 6.3%